

(参考様式5)

平成22年度 元気な地域づくり計画目標達成状況報告書

都道府県名	市町村名	地区名	計画期間	事業期間
群馬県	板倉町	離地区	H18～H21	H18～H21

1. 施策ごとの評価

(1) ソフト
施策の内容
施策の実績

--

施策の効果

--

(2) ハード

施策の内容：農用地等集団化事業（交換分合）の実施

施策等の実績

ア 実施計画達成状況

事業種類	事業内容	助成対象施設等	事業主体	管理主体
生産基盤整備	基盤整備促進 (農用地等集団化)	交換分合計画	板倉町農業委員会	板倉町農業委員会
事業量	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
地区面積51.2ha	H18年度	平成21年度	H22.4.1	

事項	単位	計画変更時 (20年度)	目標値 (21年度) A	達成状況		備考
				実績値 B	達成率(%) B / A	
農用地等集団化	ha	50.0	51.2	51.2	102.4%	

計画時（H17年度）は、100.0haの計画であったが、H20年度に計画変更を行った。

施策の効果

(コメント) 低コストで農用地が集団化され、経営規模の拡大、作業性の向上が図られるなど、農業経営の効率化への基盤が整備された。

2. 指標の達成状況に関する評価

	成果指標 (単位)	基準値 (17年度)	目標値 (21年度)	目標増減 (増減率等) (A)	実績値 (21年度)	実績増減 (増減率等) (B)	達成率 (%, 下2桁) (B/A)
必 須	農用地の集団化 される割合	-	40%	40%	70%	70%	175%
地 域							

(コメント) 事業計画の達成率が100%という実績が得られたことは、個々の農家の農地集団化に対する理解・協力の賜であると同時に、地域での農業経営の取り組み姿勢を表すものとして評価に値するものである。

3. 目標の達成状況に関する評価

地元要望を受けた形で平成18年度に土地所有者等の基礎調査及び意向調査等に始まった当交換分合計画は、その実施により、目標値51.2ha、関係農家164戸のうち、移動した面積19.7ha(移動率38.5%・移動した農家数83名)、団地数307から159に集積(集団化率70%)され、作業の効率化(低コスト化)が図られた。

4. 総合評価

本事業は、平成17年度に推進委員会が発足され、地域に精通した役員が中心となり意向調査・意見聴取及び集落ごとの詳細な説明会等の実施、個々の農家の事情に配慮した交換分合計画の調整等を強力なリーダーシップのもと行われた結果、目標値51.2haの地権者同意を得られ、計画期間の3年で事業が完了できた。

また、当事業では農用地の集団化を安価に行うため交換分合事業を実施したが、整地等の工事を実施していないため、土地はまとまったが高低差や畦畔ブロックが残っている等の問題があり、これを解消するため、役員が要望をとりまとめ、整地作業の一括依頼、畦畔撤去作業を直接実施したことなども早期完了の要因である。

一方、交換分合した土地に耕作放棄地があったため、H21年度に耕作放棄地再生利用推進事業を併せて実施し耕作放棄地(670㎡)を解消した。

その結果、農用地の集団化、耕作放棄地の解消による営農効率の向上、農地・環境の保全が図られ、また、当事業の円滑な完了により周辺地域の整備意欲も高まってきた。

なお、達成状況については、交換分合事業実績データ及び実施状況調査を基に板倉町が評価を行い、評価結果を公表している。

(都道府県の意見)

板倉町離地区における交換分合による農地集団化については、多数の県外耕作者等を含む権利者が存在する中、地元役員の強力なリーダーシップと粘り強い調整の結果、集団化率70%という高い実績を残した。

これは、大規模作付け、機械化導入を可能とするなど経営の効率化に資するものを低コストで実現したものであり、地域農業の中核を担う経営体の経営意欲を高めて、将来に向けた地域農業を振興する基盤を整備したこととなり、事業目的が十分に達せられたものとする。